

# 松阪の景気動向

平成31年1月調査結果

当所では、松阪地域の景気動向を的確に把握し、今後の商工会議所事業活動の参考とすることを目的に、毎月実施の調査結果がまとまった。今回、1

## 調査対象

当所会員事業所から任意抽出した1,000企業を対象に調査を実施し、回答は423企業、回答率42.3%であった。

## 業種別回答状況

・製造業	25.1%
・建設業	14.7%
・卸売業	7.1%
・小売業	19.6%
・飲食業	6.4%

## 従業員数別回答状況

・サービス業	19.4%
・交通運輸業	7.8%
・0～5人	54.1%
・6～20人	25.3%
・21～50人	11.8%
・51～100人	4.0%
・101人以上	4.7%

## ① 現況と今後の見通し

(A) 現況

## 現況について

業種	調査時期	良い	やや良い	変わらない	やや悪い	悪い	DI値
製造	31年1月	5.7	17.0	39.6	32.1	5.7	△15.1
	30年7月	1.0	20.6	35.3	33.3	9.8	△21.5
建設	31年1月	8.1	33.9	46.8	6.5	4.8	30.7
	30年7月	7.2	15.9	50.7	18.8	7.2	△2.9
卸売	31年1月	6.7	23.3	40.0	26.7	3.3	0.0
	30年7月	0.0	20.0	40.0	37.1	2.9	△20.0
小売	31年1月	4.8	10.8	28.9	32.5	22.9	△39.8
	30年7月	1.1	5.7	37.5	38.6	17.0	△48.8
飲食	31年1月	0.0	29.6	29.6	25.9	14.8	△11.1
	30年7月	0.0	10.3	44.8	34.5	10.3	△34.5
サービス	31年1月	4.9	12.2	43.9	28.0	11.0	△21.9
	30年7月	2.2	9.7	46.2	31.2	10.8	△30.1
交通運輸	31年1月	3.0	36.4	45.5	9.1	6.1	24.2
	30年7月	6.5	29.0	41.9	16.1	6.5	12.9
総合計	31年1月	5.2	20.1	39.2	25.1	10.4	△10.2
	30年7月	2.5	14.5	41.8	30.9	10.3	△24.2

### ※DI値（現況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

全体では「良い」「やや良い」が25.3%（前回17.0%）、「やや悪い」「悪い」が35.5%（前回41.2%）となり、DI値は△10.2で、前回（△24.2）より14.0ポイント改善した。業種別のDI値は全ての業種で改善した。

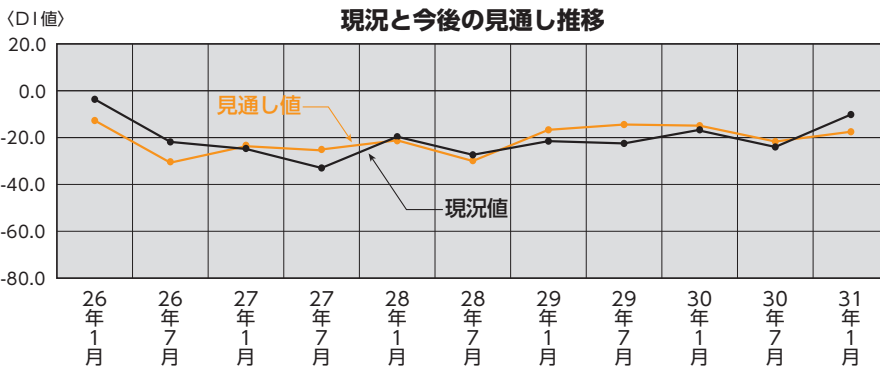
全体では「良い」「やや良い」が15.8%（前回13.4%）、「やや悪い」「悪い」が33.3%（前回35.1%）となり、DI値は△17.5で、前回（△21.7）より4.2ポイント改善した。業種別のDI値はサービス業を除く全ての業種で改善を見通している。サービス業はほぼ横ばい（見通し）。

## (B) 今後の見通し

全体では「良い」「やや良い」

## 今後の見通し

業種	調査時期	良い	やや良い	変わらない	やや悪い	悪い	わからない	DI値
製造	31年1月	1.9	16.0	41.5	26.4	7.5	6.6	△16.0
	30年7月	0.0	14.7	44.1	25.5	7.8	7.8	△18.6
建設	31年1月	9.7	12.9	41.9	21.0	4.8	9.7	△3.2
	30年7月	4.3	10.1	53.6	17.4	7.2	7.2	△10.2
卸売	31年1月	6.7	16.7	36.7	26.7	6.7	6.7	△10.0
	30年7月	0.0	11.4	51.4	22.9	8.6	5.7	△20.1
小売	31年1月	0.0	8.4	32.5	26.5	22.9	9.6	△41.0
	30年7月	0.0	9.1	33.0	35.2	17.0	5.7	△43.1
飲食	31年1月	0.0	3.7	48.1	22.2	3.7	22.2	△22.2
	30年7月	0.0	10.3	41.4	31.0	10.3	6.9	△31.0
サービス	31年1月	3.7	11.0	42.7	23.2	8.5	11.0	△17.0
	30年7月	1.1	12.9	41.9	19.4	11.8	10.8	△17.2
交通運輸	31年1月	3.0	18.2	51.5	12.1	3.0	12.1	6.1
	30年7月	3.2	19.4	45.2	16.1	9.7	6.5	△3.2
総合計	31年1月	3.3	12.5	40.9	23.6	9.7	9.9	△17.5
	30年7月	1.1	12.3	43.4	24.4	10.7	7.6	△21.7



### ② 売上状況と利益状況

#### (A) 売上状況

全体では「増加」「やや増加」が24・6%（前回22・1%）、「やや減少」「減少」が37・9%（前回40・3%）となり、DI値は△13・3で、前回（△18・2）

#### (B) 利益状況

全体では「増加」「やや増加」が21・5%（前回15・9%）、「やや減少」「減少」が40・9%

より4・9ポイント改善した。業種別のDI値は交通運輸業を除く全ての業種で改善した。一方で交通運輸業は悪化した。

### ③ 販売条件・仕入条件

#### (A) 販売条件

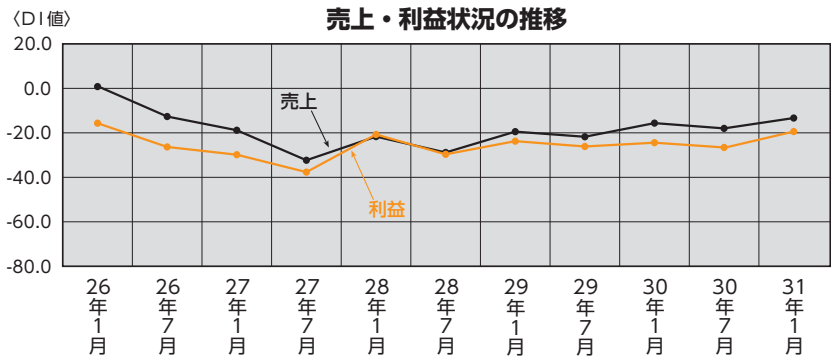
全体では「好転」「やや好転」は9・2%（前回7・6%）、「やや悪化」「悪化」は18・4%（前回26・1%）、DI値は△9・2で、前回（△18・5）より9・3ポイント改善した。業種別のDI値は建設業を除く全ての業種で改善した。一方で建設業はほぼ横ばいとなった。

#### (B) 仕入条件

全体では「好転」「やや好転」は3・3%（前回3・8%）、「やや悪化」「悪化」は26・5%（前回26・9%）となり、DI値は△23・2で、前回（△23・1）とほぼ横ばいとなった。業種別のDI値は卸売業、飲食業、サービス業で改善した。一方で製造業、建設業、交通運輸業で悪化し、小売業はほぼ横ばいとなった。

## ④ 借入について

(A) 現状 (図1)  
 回答企業423社のうち、借入を実施した企業は174社、41・1% (前回174社、38・9%)であった。



(B) 予定 (図2)  
 全体では、回答企業423社のうち、借入を予定している企業は74社17・5% (前回81社、18・1%)であった。

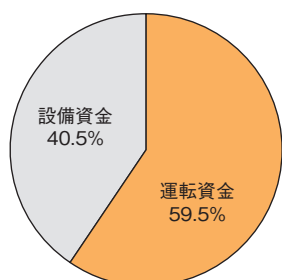
## 経営上の問題点 (3項目以内複数回答)

業種	第1位	第2位	第3位
製造	売上・受注の停滞減少 (43.4%)	人手不足 (41.5%)	人材育成 (34.0%)
建設	人手不足 (64.5%)	人材育成 (45.2%)	競争激化 (24.2%)
卸売	売上・受注の停滞減少 (33.3%)	人手不足 人材育成 (30.0%)	競争激化 (26.7%)
小売	売上・受注の停滞減少 (53.0%)	人手不足 (32.5%)	競争激化 (28.9%)
飲食	原材料高及び不足 (48.1%)	設備店舗の狭小老朽化 (44.4%)	人手不足 (33.3%)
サービス	人手不足 (37.8%)	売上・受注の停滞減少 (34.1%)	人材育成 (25.6%)
交通運輸	人手不足 (81.8%)	人材育成 (36.4%)	人件費の増加 (30.3%)
総合	人手不足 (44.2%)	売上・受注の停滞減少 (35.7%)	人材育成 (28.8%)
前回	売上・受注の停滞減少 (45.0%)	人手不足 (35.8%)	競争激化 (24.6%)

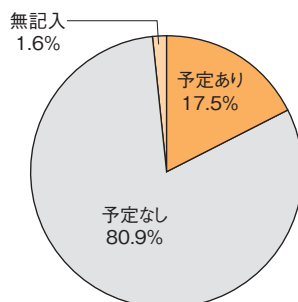
(C) 使途予定 (図3)  
 全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」59・5% (前回63・0%)、「設備資金」は40・5% (前回33・3%)であった。

※ 3項目以内選択

借入資金の使途予定 (図3)  
 (H31.1~H31.6)



借入の予定 (図2)  
 (H31.1~H31.6)



借入の現状 (図1)  
 (H30.7~H30.12)

